

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益社団法人 関西二期会
公演団体名	公益社団法人 関西二期会

内容
<p>【オープニング】楽しい四重唱（小学校…さんぽ、中学生…花）</p> <p>【共演曲を使用した合唱指導・体験型ワークショップ】</p> <p>合唱をより楽しく鑑賞するために声の出し方を体験し、音楽の表現方法を学ぶことで本公演における声楽・合唱音楽の知識を身につけてもらいます。ワークショップでは事前に学校側で選んで頂いた合唱曲を使用して、歌う楽しさを感じて頂くことも目的のひとつとします。</p> <p>まず初めに、児童・生徒の皆さんに歌って頂きます。その後、模範演奏として関西二期会のメンバーが同じ曲を歌います。その際、「どんな違いがあったか？」や「どんな印象を受けたか？」を考えてもらいます。その後、美しい声を出すための発声に必要な体操を行い、歌う為の姿勢と息の使い方を知った後、発声練習を行います。その際、関西二期会のメンバーが分かりやすくアドバイスを致します。（休憩 10 分程度）</p> <p>【楽曲指導・ミニコンサート】後半は、歌う準備が整ったところで、共演曲の具体的な楽曲指導に移ります。ここでは、歌詞の意味を一緒に考え、曲を通しての音楽の表現を学び、より魅力的な合唱にするコツを体感することで、合唱の楽しさや奥深さを感じて頂きます。児童生徒が一通り歌唱した後で、男声女声の声の違いをより理解してもらう為にミニコンサートを行います。ソプラノ・アルト・テノール・バスの歌手が、児童・生徒の皆さんにも耳馴染みのある曲を1曲ずつ歌い、声の違いやおもしろさを感じて頂くとともに、本公演に向けた鑑賞指導の役割も果たしています。</p> <p>【質問コーナー】</p> <p>普段接する機会の少ないプロのオペラ歌手に、気になることを質問して頂くコーナーです。歌手自身が児童・生徒のみなさんのところへマイクをもっていき、より身近な雰囲気で行進していきます。</p>

タイムスケジュール（標準）
・基本スケジュール（午前開催のワークショップの場合） 学校着 8:50 / リハーサル 9:00～10:30 / ワークショップ 10:50～12:30（休憩 10 分含む 100 分）/ 学校発 12:50

派遣者数
6 名（主指導者 1 名・アシスタント指導者 5 名）

学校における事前指導

事前に学校によって児童・生徒の皆さんが興味をもって取り組めそうな曲（共演曲）を選んで頂き、関西二期会事務局へ楽譜を送って頂きます。学校ではワークショップまでに可能な範囲での練習をお願いします。音楽の授業だけでなく、給食時や登下校の際の音楽として放送するなど、児童・生徒の皆さんが自然と体に馴染んで覚えるような工夫をお願いします。

ワークショップ終了後も機会を見つけて本公演に向けて練習をお願いします。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益社団法人 関西二期会
公演団体名	公益社団法人 関西二期会

演目
【オープニング】 ●威風堂々 【日本の歌メドレー】 花～春の小川～浜辺の歌～我は海の子～村祭り～小さい秋みつけた～冬景色～雪～ふるさと・・・学校公演時間の都合上、曲の入替えの可能性があります。 【スキヤット】トランペット吹きの休日 【男声合唱】ソーラン節 【女声合唱】ほたるこい 【合唱曲】 ●小学校…君をのせて／勇気100% ●中学校…君をのせて／ジュピター 【心と心を紡ぐ歌】 ●しあわせ運べるように／花は咲く 【楽しい二重唱】 ●猫の二重唱 【オペラの名曲】 ●ナブッコ より 飛べ、黄金の翼に乗って／カルメン より ハバネラ／椿姫 より 乾杯の歌 【みんなで歌いましょう】 ●ワークショップの成果を発表(各学校毎の提案曲) 【校歌】 ●校歌斉唱／混声四部合唱による校歌 【アンコール】 ●すべての山に登れ

派遣者数
合計(28名) 出演者(24名)・指揮者(1名)・ピアニスト(1名)・スタッフ(2名)

タイムスケジュール（標準）

・基本スケジュール（午前開催の本公演）

学校着 8:50 / リハーサル 9:00～10:30 / ワークショップ 10:50～12:40(休憩 10 分含む 110 分) / 学校発 13:00

実施校への協力依頼人員

事前にお願ひします準備と当日の設営運営、公演では簡単な司会の先生を一人お願ひします。

演目解説

【オープニング】威風堂々

最初にオペラの名曲を原語で聴いて頂きます。エルガー作曲「威風堂々」は、日本でも大変有名な曲で、まさに威風堂々とした合唱の壮大な迫力を感じて頂ける曲です。

【日本の歌メドレー】花～春の小川～浜辺の歌～我は海の子～村祭り～小さい秋みつけた～冬景色～雪～ふるさと

日本に伝わる楽しい童謡の数々をメドレーでお届けします。曲によって泣いたり笑ったりする感情の変化を「声」によって歌手たちがどう表現するかもお楽しみください。いつまでも、これらの名曲が歌い継がれて欲しいという気持ちもこめて歌います。

【スキヤット】トランペット吹きの日

L.アンダーソンが作曲した、歌詞のないスキヤットという手法の曲をここで紹介します。まるでトランペットの音のように、声を自由自在に変える歌手たちにご注目下さい。また、どんな「トランペット吹きなのか？」を想像しながら聴いていただくことが、後半のオペラの名曲への導入にも繋がっています。

【男声合唱】ソーラン節

北海道の積丹半島に伝わる民謡です。漁師がニシンの網を引っ張る際のかけ声「ヤーレ・ソーラン」からつくられた作業歌です。ア・カペラという伴奏のない演奏スタイルで、力強い男性の声を聴いて頂きます。

【女声合唱】ほたるこい

「ほたるこい」は秋田地方に伝わるわらべうたです。ソーラン節とは対象的な女性の柔らかくて優しい声を、聴き比べていただきます。

【合唱曲】君をのせて

アニメ「天空の城ラピュタ」のヒットと共に一躍有名になったこのテーマ曲は、どこか懐かしいメロディーが印象的です。目には見えない大切なものが、そこにあると思うだけで世界は輝いて見えるという希望に満ちた歌です。

●小学校

勇気 100%…アニメ「忍たま乱太郎」の主題歌として、よく知られている曲です。落ち込んでいる友達に「一緒ががんばろうよ」と励ますメッセージが込められています。

●中学校…ジュピター

ホルスト作曲の「惑星」をアレンジしたこの曲は、「ひとりじゃない 深い胸の奥で つながってる」と歌い、新潟県中越地震や東日本大震災の復興のシンボルとして支持されています。

今なおロングヒットを続け、ドラマや CM、アーティストによるカバーなど老若男女問わず人気を集めています。

【心と心を紡ぐ歌】

しあわせ運べるように

…阪神・淡路大震災後に臼井真氏が神戸復興を願い、作詞・作曲した曲です。未来への希望を願い歌い継がれています。

花は咲く

…東日本大震災の被災地復興を応援するために制作されたチャリティーソングです。未来への希望を願い歌い継がれています。

【楽しい二重唱】猫の二重唱

この曲はイタリアの作曲家ロッシーニが作曲しました。すべてネコの言葉で身振りと共に繰り広げられますが、聴く人はきっとネコの気持ちがよく分かることでしょう。歌と演技の両方をお楽しみ下さい。

【オペラの名曲】ナブッコ より 飛べ、黄金の翼に乗って/カルメン より ハバネラ/椿姫 より 乾杯の歌ここでは、児童・生徒の皆さんにも耳馴染みのあるオペラの名曲を披露致します。

体育館が、一瞬にしてパリの社交界に変わってしまう！？そんなオペラの魅力をお楽しみ下さい。プロのオペラ歌手の集団である関西二期会だからこそ成し得るプログラムです。

【みんなで歌いましょう】ワークショップの成果を発表(各学校毎の提案曲)

ここではまず、児童・生徒のみなさんに共演曲を発表して頂きます。これまでの練習の成果を披露する特別な場になると思います。その後、関西二期会のメンバーが歌唱し、最後は子どもたちの列の中にメンバーが入り、一緒に歌唱します。大勢で声を重ねて共有する合唱の楽しさを体で感じて頂きます。

【校歌】校歌斉唱／混声四部合唱による校歌

児童・生徒のみなさんにとって一番親しみのある校歌を斉唱して頂きます。

その後、関西二期会のメンバーが混声四部合唱にアレンジした校歌を歌います。

ソプラノパート、アルトパート、テノールパート、バスパートによるいつもとは違った響きの校歌をお聴き下さい。

【アンコール】すべての山に登れ

公演のお礼の意味をこめて、歌でお返しをいたします。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップで練習し取り組んできた共演曲を、本公演プログラム【みんなで歌いましょう】で発表して頂きます。大勢の観客の前で歌うことを通して、単に鑑賞するだけでなく、自分たちも参加し一緒に公演をつくっているという気持ちが生まれることを期待します。また、その際の指揮と伴奏も児童・生徒の方にできる限り担当していただきます。(関西二期会の指揮者とピアニストがその児童・生徒にアドバイスやサポートをさせて頂きます。)

児童生徒とのふれあい

練習してきた共演曲を、関西二期会のメンバーが児童・生徒の列の中に混ざってみんなで一緒に歌い共演いたします。また、「猫の二重唱」や「ハバネラ」では歌手が舞台から降り、児童・生徒の皆さんにより近い距離で演奏が行われます。場合によっては、児童・生徒が歌手に小道具を渡す役割を任せられるなどのサプライズ共演も起こります。

事前の合唱練習の発表の場、そしてプロのオペラ歌手たちとの共演を通して、児童・生徒が達成感や充実感を感じられる機会となるように致します。

また終演後など滞在時間の許す限り、児童・生徒の質問に答えたり、サインに応じるなど、コミュニケーションを大切にしております。

